

## ガラテア

### @割礼派=改宗者へのけん制の書

#### 論点

- 1) 異邦人が割礼を受ける必要はない。
  - (ア) どうして割礼派は割礼を受けたのか
    - ① それが伝統であり神の命令だと信じたので。
    - ② 他の信者より優位に立ちたかったので
    - ③ 迫害を恐れて。(当時のローマではユダヤ教は公認宗教であったが、クリスチャンは異端とされていた。
      1. (ガラテア 6:12 肉において外見を良くしたい者たちが、ただ、キリストの十字架のゆえに自分たちが迫害されないようにと、あなたがたに割礼を強いています。
  - (イ) 割礼派の描写
    - ① (ピリピ 3:2 犬どもに気をつけなさい。悪い働き人たちに気をつけなさい。肉体だけの割礼の者に気をつけなさい。  
肉体だけの割礼の者=カタタメイ (ギ) 自らに割礼を施す者達というニアンズ  
◀ 2699. katatomé (カタタメイ) 1回▶(N) 切断という意味からきているようだ。  
◀ 4061. peritomé (ペリタメイ) 36回▶(N)割礼
- 2) パウロは使徒である
  - (ア) 上記の論点を無効にするために、割礼派はパウロの使徒職を認めなかった。
  - (イ) パウロの論証
    - ① 自分は異邦人の使徒であった。(ガラテア 2:8) (ローマ 11:13)
    - ② 使徒たちに認められた

(ガラテア 2:7 それどころか、ペテロが割礼を受けている者への福音を委ねられているように、私は割礼を受けていない者への福音を委ねられていることを理解してくれました。

2:8 ペテロに働きかけて、割礼を受けている者への使徒とされた方が、私にも働きかけて、異邦人への使徒としてくださったからでした。

2:9 そして、私に与えられたこの恵みを認め、柱として重んじられているヤコブとケファとヨハネが、私とバルナバに、交わりのしるしとして右手を差し出しました。それは、私たちが異邦人のところに行き、彼らが割礼を受けている人々のところに行くためでした。

2:10 ただ、私たちが貧しい人たちのことを心に留めるようにとのことでしたが、そのことなら私も大いに努めてきました。

1.

③ ペテロをも非難できる立場にある (ガラテア 2:14)

④ 神から直接立てられた

(ガラテア 1:16 異邦人の間に御子の福音を伝えるため、御子を私のうちに啓示することを良しとされたとき、私は血肉に相談することをせず、

1:17 私より先に使徒となった人たちに会うためにエルサレムに上ることもせず、すぐにアラビアに出て行き、再びダマスコに戻りました。

1.

3) ユダヤ人として割礼派より肉においては優位である

(ア) (ピリピ 3:5) 私は八日目の割礼を受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの者です。きつすいのヘブル人で、律法についてはパリサイ人、

4) 割礼派の思惑

① 自分の論調を守るために、パウロを貶めようとした

1:6 私は驚いています。あなたがたが、キリストの恵みによって自分たちを召してくださった方から、このように急に離れて、ほかの福音に移って行くことに。

ほかの=ヘテロス。(アロスではない) アロスは同質だが別の物、ヘテロスは別個の物

◀ 2087. heteros (99回) ▶ 別の、異なった

@ (2 コリ 11:4) というわけは、ある人が来て、私たちの宣べ伝えなかった別のイエスを宣べ伝えたり、あるいはあなたがたが、前に受けたことのない異なった霊を受けたり、受け入れたことのない異なった福音を受けたりするときも、あなたがたはみごとにこらえているからです。

1:7 ほかの福音といっても、もう一つ別に福音があるわけではありません。あなたがたを動揺させて、キリストの福音を変えてしまおうとする者たちがいるだけです。

(2 コリ 11:4) 実際、だれかが来て、私たちが宣べ伝えなかった別のイエスを宣べ伝えたり、あるいは、あなたがたが受けたことのない異なる霊や、受け入れたことのない異なる福音を受けたりしても、あなたがたはよく我慢しています。

(2 ペテ 2:1) しかし、御民の中には偽預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

(I テモ 6:3 違ったことを教え、私たちの主イエス・キリストの健全なことばと、敬虔にかなう教えに同意しない者がいるなら、

1:8 しかし、私たちであれ天の御使いであれ、もし私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音に反することを、福音として宣べ伝えるなら、そのような者はのろわれるべきです。

1:12 私はそれを人間から受けたのではなく、また教えられたのでもありません。ただイエス・キリストの啓示によって受けたのです。

1:15 しかし、母の胎にあるときから私を選び出し、恵みをもって召してくださった神が、

恵みをもって= ◀ 2106. eudokeó (イダケオ) 21回 ▶ 喜んで

マタ 3:17 そして、見よ、天から声があり、こう告げた。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

ルカ 12:32 小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです。

1:16 異邦人の間に御子の福音を伝えるため、御子を私のうちに啓示することを良しとされたとき、私は血<sup>レ</sup>肉<sup>ニ</sup>に相談することをせず、

肉= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149回 ▶ 体、肉体、魂の欲、血統、人、人生(1 コリ 7:28)

1:17 私より先に使徒となった人たちに会うためにエルサレムに上ることもせず、すぐにアラビアに出て行き、再びダマスコに戻りました。

@アラビヤ=荒野

1:19 しかし、主の兄弟ヤコブは別として、ほかの使徒たちにはだれにも会いませんでした。

1:23 ただ、人々は、「以前私たちを迫害した者が、そのとき滅ぼそうとした信仰を今は宣べ伝えている」と聞いて、

1:24 私のことで神をあがめていました。

あがめていました = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

2:2 私は啓示によって上ったのです。そして、私が今走っていること、また今まで走ってきたことが無駄にならないように、異邦人の間で私が伝えている福音を人々に示しました。おもだった人たちには個人的にそうしました。

@啓示によって上った

2:7 それどころか、ペテロが割礼を受けている者への福音を委ねられているように、私は割礼を受けていない者への福音を委ねられていることを理解してくれました。

2:8 ペテロに働きかけて、割礼を受けている者への使徒とされた方が、私にも働きかけて、異邦人への使徒としてくださったからでした。

2:9 そして、私に与えられたこの恵みを認め、柱として重んじられているヤコブとケファとヨハネが、私とバルナバに、交わりのしるしとして右手を差し出しました。それは、私たちが異邦人のところに行き、彼らが割礼を受けている人々のところに行くためでした。

@柱として重んじられている＝当時の教会の頭はペテロだけではない。(カトリックの主張は間違いである)

@ケパ＝ペテロ

2:11 ところが、ケファがアンティオキアに来たとき、彼に非難すべきことがあったので、私は面と向かって抗議しました。

第1テモ 5:20 罪を犯している者をすべての人の前で責めなさい。そうすれば、ほかの人たちも恐れを抱くでしょう。

@書簡で他の使徒の批判を書くことは知恵がないことである。この完璧主義がゆえにペテロはのちに、同僚と分裂し(使徒 15:39)弟子たちは彼の元から逃げた(2テサ 4:10)

@それでも、彼がこの話を持ち出す必要があったのは、パウロの使徒としての地位を疑う割礼派の人々がいたからである。というのも、13人目の使徒に当たるパウロは自らを「異邦人の使徒」という言葉で、納得させようとしているが、割礼派は私はペテロの監督下にある。」と主張する。それゆえ、「私はペテロにだって戒めを与えられるほどの権威がある」ということを述べているのである。

@(ガラテア 2:8 ペテロにみわざをなして、割礼を受けた者への使徒となさった方が、私にもみわざをなして、異邦人への使徒としてくださったのです。

(ロマ 11:13 そこで、異邦人であるあなたがたに言いますが、私は異邦人への使徒ですから、自分の務めを重く受けとめています。

2:12 ケファは、ある人たちがヤコブのところから来る前は、異邦人と一緒に食事をしていたのに、その人たちが来ると、割礼派の人々を恐れて異邦人から身を引き、離れて行ったからです。

一緒に食事をしていた = ◀ 4906. sunesthió(スンシオ) 5 回 ▶ 一緒に食べる  
@誰かと一緒に食べる事が強調の単語

@割礼派 = (別) 割礼者の中からの改心者

2:14 しかし、彼らが福音の真理についてまっすぐに歩んでいないのを見て、私はみなを面前でケパにこう言いました。「あなたは、自分がユダヤ人でありながらユダヤ人のようには生活せず、異邦人のように生活していたのに、どうして異邦人に対して、ユダヤ人の生活を強いるのですか。

@割礼を責めていたのではなく偽善を責めていた。

2:15 私たちは、生まれながらのユダヤ人であって、異邦人のような罪人ではありません。

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちも②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによって義と認められないからです。

キリストを信じることによって =

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

①

(TR) dia pistis Iesous Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesous Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

★

船の右側2020 4月 Vol.76の記事より 浅野淳博氏(関西学院大学神学部教授)の講演内容

「クリストゥー」は「クリストス」という主語名詞が語尾変化して「キリストの」という属格名詞になったもので「ピステイス・クリストゥー」を直訳すれば、「キリストの信頼性」になると説明。

今回の聖書協会共同訳では「キリストの真実」と訳している。

なお新共同訳で「キリストへの信仰」、新改訳2017で「キリストを信じること」と訳されていることについては、文法上はそうとも訳し得るとした。

★

Sower #46 2019 日本聖書協会

困難をどう乗り越えたか

(島先)今度はすこし話題を変えまして、困難をどういうふうに乗り越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいとおもうんですけど。

(阿部) やっぱりピステイス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」



というのが圧倒的多数なのです。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書で、どこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。・・・

★

使徒 3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおりに完全なからだにしたのです。

(KJV) the faith which is by him hath given him

(NKJ) the faith which comes through Him has given him

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

ロマ 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

＝ (改4・欄外) イエス・キリストの真実(間違い)

TRとRVSのどちらも同じ意味

(TR) dia Pistis(4102) Iēsous(2424 ) Christos(5547) (by faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) (HUB) pisteōs Iēsou Christou (through faith from Jesus Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キ

リストを信じることによって義と認められると知って、私達も②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。

キリストを信じることによって＝

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

①

(TR) dia pistis Iesus Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesus Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。(ギ) Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

(TR) ek pistis Iesous Christos (by faith of Jesus Christ)(KJV),

(RVS) pisteos Iesou Christou (by faith from Jesus Christ)(KJV)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×,

ピリピ 3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

@正しくはキリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

ガラ 2:20 もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。 今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。

@ (共) ガラ 2:20 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

愛する = ◀ 25. agapaó (アガパオ) 143 回 ▶ 愛する、真の愛で愛する。

。

2:21 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

無意味=◀ 1432. dórean (ドレアン) 9回▶無料で、無料の贈り物として、目的もなく、理由もなく(改2)(ヨハ 15:25)

マタ 10:8 病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊どもを追い出しなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

ヨハネ 15:25 これは、『彼らはゆえもなくわたしを憎んだ』と、彼らの律法に書かれていることばが成就するためです。

ロマ 3:24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。

ガラ 2:21 私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそ、キリストの死は無意味になってしまいます。

黙 22:17 御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

3:1 ああ、愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、目の前に描き出されたというのに、だれがあなたがたを惑わしたのですか。

目の前に描き出された=◀ 4270. prographó (プラグラフォ) 4回▶あらかじめ書く、すでに書く、あらかじめ示す

@ 「明確に示した」と言いたい

ローマ 15:4 かつて書かれたものはすべて、私たちに教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです。

ガラテア 3:1 ああ、愚かなガラテヤ人。十字架につけられたイエス・キリストが、目の前に描き出されたというのに、だれがあなたがたを惑わしたのですか。

エペ 3:3 先に短く書いたとおり、奥義が啓示によって私に知らされました。

ユダ 1:4 それは、ある者たちが忍び込んできたからです。彼らは不敬虔な者たちで、私たちの神の恵みを放縱に変え、唯一の支配者であり私たちの主であるイエス・キリストを否定しているので、以下のようなさばきにあうと昔から記されています。

(改2) 目の前に、あんなにはっきり示されたのに

惑わした = ◀ 940. baskainó (バスカイノ) 1回 ▶

3:2 これだけは、あなたがたに聞いておきたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも信仰をもって聞いたからですか。

@信仰をもって聞いた = (ギ) 信仰について聞いた

3:3 あなたがたはそんなにも愚かなのですか。御霊によって始まったあなたがたが、今、肉によって完成されるというのですか。

肉 = サルクス

3:4 あれほどの経験をしたのは、無駄だったのでしょうか。まさか、無駄だったということはないでしょう。

経験をした＝◀ 3958. paschó (パスホ) 42回▶ 苦しむ 42回中すべて苦しむと訳されている

(NAS)(KJV)suffer ただし(NIV)は experienced

あれほどの経験をしたのは＝(ギ)あれほど苦しんだのは

(文語) 斯程まで多くの苦難を受けしことは徒然なるか、徒然にはあるまじ。

@ガラテア人が苦しみ(迫害)を経験したのは、彼らが律法を行わなかったために、割礼派などから迫害を受けた。

それにもかかわらず、律法主義に戻るなら、その苦しみが無駄になってしまう。

3:5 あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で力あるわざを行われる方は、あなたがたが律法を行ったから、そうなるのでしょうか。それとも信仰をもって聞いたから、そうなるのでしょうか。

@信仰をもって聞いた＝(ギ)信仰について聞いた

3:6 「アブラハムは神を信じた。それで、それが彼の義と認められた」とあるとおりです。

3:7 ですから、信仰によって生きる人々こそアブラハムの子である、と知りなさい。

信仰によって生きる人々＝(ギ)信仰の人々

3:8 聖書は、神が異邦人を信仰によって義とお認めになることを前から知っていたので、アブラハムに対して、「すべての異邦人が、あなたによって祝福される」と、前もって福音を告げました。

異邦人= ◀ 1484. ethnos (エスノス)163回▶ 国民、(多くの場合) 異邦人

(改2) 3:8 聖書は、神が異邦人をその信仰によって義と認めてくださることを、前から知っていたので、アブラハムに対し、「あなたによってすべての国民が祝福される。」と前もって福音を告げたのです。

@福音を告げた=旧約の人も福音を聞いていた(ヘブル4:2)

4:2 というのも、私たちにも良い知らせが伝えられていて、あの人たちと同じなのです。けれども彼らには、聞いたみことばが益となりませんでした。みことばが、聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。

3:10 律法の行いによる人々はみな、のろいのもとにあります。「律法の書に書いてあるすべてのことを守り行わない者はみな、のろわれる」と書いてあるからです。

3:11 律法によって神の前に義と認められる者が、だれもないということは明らかです。「義人は信仰によって生きる」からです。

3:12 律法は、「信仰による」ではありません。「律法の掟を行う人は、その掟によって生きる」のです。

3:13 キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私た

ちを律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。

@私たちのためにのろわれたものとなって、、、(別)ところがトーラを守ることができない私たちはその罪の為にのろわれなければならないのに、、

@律法ののろい=律法に書かれた悪い報いの言葉(律法そのものを呪いといっているのではない)

@つまりイエスは律法によれば呪われた者になった。

3:14 それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるようになるためでした。

3:16 約束は、アブラハムとその子孫に告げられました。神は、「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。

3:17 私の言おうとしていることは、こうです。先に神によって結ばれた契約を、その後四百三十年たってできた律法が無効にし、その約束を破棄することはありません。

3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。

(ギ) Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) But the scripture hath concluded all under sin, that the promise by faith of Jesus Christ might be given to them that believe.



ただし(NKJ)は by faith in Jesus Christ (間違い)

★

船の右側2020 4月 Vol.76の記事より浅野淳博氏(関西学院大学神学部教授)の講演内容

「クリストゥー」は「クリストス」という主語名詞が語尾変化して「キリストの」という属格名詞になったもので「ピステイス・クリストゥー」を直訳すれば、「キリストの信頼性」になると説明。

今回の聖書協会共同訳では「キリストの真実」と訳している。

なお新共同訳で「キリストへの信仰」、新改訳2017で「キリストを信じること」と訳されていることについては、文法上はそうとも訳し得るとした。

★

Sower #46 2019 日本聖書協会

困難をどう乗り越えたか

(島先) 今度はすこし話題を変えまして、困難をどういうふう乗り越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいとおもうんですけど。

(阿部) やっぱりピステイス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」というのが圧倒的多数なのです。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書で、どこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。・・・

★

使徒 3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおり完全なからだにしたのです。

(KJV) the faith which is by him hath given him

(NKJ) the faith which comes through Him has given him

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

ロマ 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

＝ (改4・欄外) イエス・キリストの真実(間違い)

TRとRVSのどちらも同じ意味

(TR) dia Pistis(4102) Iēsous(2424 ) Christos(5547) (by faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) (HUB) pisteōs Iēsou Christou (through faith from Jesus Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちも②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。

キリストを信じることによって＝

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

(TR) dia pistis Iesous Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesous Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。(ギ) Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

(TR) ek pistis Iesous Christos (by faith of Jesus Christ)(KJV),

(RVS) pisteos Iesou Christou (by faith from Jesus Christ)(KJV)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ピリピ 3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

@正しくはキリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

3:26 あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。

3:27 キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、**キリストを着た**  
**のです。**

創世記 3:21 神である【主】は、アダムとその妻のために、皮の衣を作って彼らに**着せられた。**

4:1 つまり、こういうことです。相続人は、全財産の持ち主なのに、子どもであるうちは奴隷と何も変わらず、

子ども = ◀ 3516. népios ▶ 子供、赤ちゃん、

4:2 父が定めた日までは、後見人や管理人の下にあります。

4:3 同じように私たちも、子どもであったときには、この世の**もろもろの霊**の下に奴隷となっていました。

(共) 4:3 同様にわたしたちも、未成年であったときは、世を支配する**諸霊**に奴隷として仕えていました。

@もろもろの霊 = ◀ 4747. stoicheion (ストイハイヤ) 7回 ▶ (N) 元素、

基本、宇宙の物質由来の要素

(どうして「もろもろの霊」と訳するのかわからない)

(改2) 幼稚な教え (KJV) elements

ガラ 4:9 しかし、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうして弱くて貧弱な、もろもろの霊に逆戻りして、もう一度改めて奴隷になりたいと願うのですか。

コロ 2:8 あの空しいだましごとの哲学によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世のもろもろの霊によるものであり、キリストによるものではありません。

コロ 2:20 もしあなたがたがキリストとともに死んで、この世のもろもろの霊から離れたのなら、どうして、まだこの世に生きているかのように、

ヘブル 5:12 あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならぬにもかかわらず、神が告げたことばの初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

@初歩=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素

(改2) 初歩、(KJV)the first principles

2 ペテ 3:10 しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまいます。

天の万象=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素

(改2) 天の万象、(KJV)the elements

2 ペテ 3:12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

天の万象=4747 stoicheion 元素、基本、宇宙の物質由来の要素

(改2) 天の万象、(KJV)the elements

4:4 しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。

時が満ちて=(改2)定めの時が来たので

4:5 それは、律法の下にある者を贖い出すためであり、私たちが子としての身分を受けるためでした。

下に=◀ 5259. hupo (ウパ) 222 回 ▶ by、 of、 under、 from

律法の下にある者= (へ) トーラの枠のうちにあるもの

私たち=ユダヤ人を含めて。 (異邦人は律法の下になかったので)

子としての身分を受ける=◀ 5206. huiothesia (ウイオテシア) 5 回 ▶ (N) 養子。

4:6 そして、あなたがたが子であるので、神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。

子 = ◀ 5207. huios (ウイヤス) 382 回 ▶ (N) 息子

4:7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、**子**です。**子**であれば、神による相続人です。

子 = ◀ 5207. huios (ウイヤス) 382 回 ▶ (N) 息

4:6 そして、あなたがたが子であるので、神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。

4:7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神による相続人です。

4:8 あなたがたは、かつて神を知らなかったとき、本来神ではない神々の奴隷でした。

4:9 しかし、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうして弱くて貧弱な、もろもろの霊に逆戻りして、もう一度改めて奴隷になりたいと願うのですか。

@もろもろの霊 = ◀ 4747. stoicheion (ストイハイヤ) 7 回 ▶ (N) 元素、基本、宇宙の物質由来の要素

(どうして「もろもろの霊」と訳するのかわからない)

(改2) 幼稚な教え (KJV) elements

ガラ 4:9 しかし、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうして弱くて貧弱な、もろもろの霊に逆戻りして、もう一度改めて奴隷になりたいと願うのですか。

コロ 2:8 あの空しいだましごとの哲学によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世のもろもろの霊によるものであり、キリストによるものではありません。

4:12 兄弟たち、あなたがたに願います。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私に悪いことを何一つしていません。

願います= ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

懇願する

Ⅱ コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

1 コリ 4:16 ですから、あなたがたに勧めます。私に倣う者となってください。

1 コリ 11:1 私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。

ガラ 4:12 兄弟たち、あなたがたに願います。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私に悪いことを何一つしていません。

ピリ 3:17 兄弟たち。私に倣う者となってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。



エペ 5:1 ですから、愛されている子どもらしく、神に倣う者となりなさい。

Iテサ 1:6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

4:13 あなたがたが知っているとおりに、私が最初あなたがたに福音を伝えたのは、私の肉体が弱かったためでした。

4:14 そして私の肉体には、あなたがたにとって試練となるものがあったのに、あなたがたは軽蔑したり嫌悪したりせず、かえって、私を神の御使いであるかのように、キリスト・イエスであるかのように、受け入れてくれました。

4:15 それなのに、あなたがたの幸いは、今どこにあるのですか。 私はあなたがたのために証しますが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出して私に与えようとさえしたのです。

幸い = ◀ 3108. makarismos (マカリスマース) 3回 ▶ 幸い Definition: a declaration of blessedness

4:17 あの人たちはあなたがたに対して熱心ですが、それは善意からではありません。彼らはあなたがたを私から引き離して、自分たちに熱心にならせようとしているのです。

4:22 アブラハムには二人の息子がいて、一人は女奴隷から、一人は自由の女から生まれた、と書かれています。

4:23 女奴隷の子は肉によって生まれたのに対し、自由の女の子は約束によって生まれました。

肉によって＝サルクス

ここでは律法を意味する。

4:24 ここには比喩的な意味があります。この女たちは二つの契約を表しています。一方はシナイ山から出ていて、奴隷となる子を産みます。それはハガルのことです。

4:25 このハガルは、アラビアにあるシナイ山のことで、今のエルサレムに当たります。なぜなら、今のエルサレムは、彼女の子らとともに奴隷となっているからです。

4:26 しかし、上にあるエルサレムは自由の女であり、私たちの母です。

4:27 なぜなら、こう書いてあるからです。「子を産まない不妊の女よ、喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ、喜び叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもよりも多いからだ。」

4:28 兄弟たち、あなたがたはイサクのように約束の子どもです。

4:29 けれども、あのとき、肉によって生まれた者が、御霊によって生まれた者を迫害したように、今もそのとおりになっています。

4:30 しかし、聖書は何と言っていますか。「女奴隷とその子どもを追い出してください。女奴隷の子どもは、決して自由の女の子どもとともに相続すべきではないのです。」

4:31 こういうわけで、兄弟たち、私たちは女奴隷の子どもではなく、自由の女の子どもです。

5:1 キリストは、自由を得させるために私たちが解放してくださいました。ですから、あなたがたは堅く立って、再び奴隷のくびきを負わされないようにしなさい。

5:2 よく聞いてください。私パウロがあなたがたに言います。もしあなたがたが割礼を受けるなら、キリストはあなたがたに、何の益ももたらさないことになります。

割礼を受けるなら

(ピリピ 3:3 神の御霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない私たちこそ、割礼の者なのです。

ガラ 5:3 割礼を受けるすべての人に、もう一度はっきり言うておきます。そういう人には律法全体を行う義務があります。

はっきり言う = ◀ 3143. marturomai (マルトウロマイ) 5回 ▶ 証言する

宣言する(使徒 20:26)、はっきり

言う(ガラ 5:3)

5:6 キリスト・イエスにあつて大事なものは、割礼を受ける受けないではなく、愛によって働く信仰なのです。

@愛によって働く信仰

5:10 あなたがたが別の考えを持つことは決してないと、私は主にあつて確信しています。しかし、あなたがたを動揺させる者は、だれであろうと、さばきを受けます。

考え (V) = ◀ 5426. phroneó (フラネイオ) 26回 ▶ (V) 理解する、考える、思う (マタ 16:23)

別の考え＝ (改2)少しも違った考え

5:13 兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。

5:14 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。

愛する＝◀ 25. agapaó (アガパオ) 143回▶愛する、真の愛で愛する。

5:15 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

5:16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。

御霊によって歩みなさい＝御霊の願望を満足させなさい

5:17 肉が望むことは御霊に逆らい、御霊が望むことは肉に逆らうからです。この二つは互いに対立しているので、あなたがたは願っていることができなくなります。

5:18 御霊によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。

5:19 肉のわざは明らかです。すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、

5:20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、

5:21 ねたみ、泥酔、遊興、そういった類のものです。以前にも言ったように、今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。

5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、

実 = ◀ 2590. karpos (カルパース) 66 回 ▶ 実、果実、結果

実 = 単数形 = (英)fruit

実 は常に賜物に優先される (1 コリ 12:31 あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。、、

御霊の賜物 = 体力測定

御霊の実 = 健康診断

誠実 = (N)信仰 = ◀ 4102. pistis (ピスティス) 243 回 ▶ 信仰、(信賴、忠実)

@ どうして誠実と訳すのかわからない。

KJV 以外の主要訳は NKJ も含めてほとんどすべて faithfulness (誠実、忠実) となっている。

(NAS) faithfulness、(KJV)faith、(NKJ) faithfulness

pistis (ピスティス)は 99% 信仰と訳されている。

「信仰」以外の言葉に訳すことが合理的に感じるのは、マタイ 23:23(ただし KJV は faith)、ローマ 3:3 ぐらいです。

5:23 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。

@ 自制 = (RV) 節度

## @柔和の霊

ガラテア 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

5:24 キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。

十字架につけた=(改 2)十字架につけてしまった

@クリスチャンがつける

(ギ) ε σ τ α υ ρ ω σ α ν エスタウロウサン [彼等は]十字架に付けました  
動詞・アオリスト・能動・叙実・三人称・複数

@自分で十字架につけねばならない。

6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

@柔和な心=(ギ) 柔和な霊=御霊の実

@正して=(ギ) カタルチゾー=和解、繕う (マコ 1 : 19)、接骨

◀ 2675. Katartizó (カタルチゾ) 1 3回 ▶ 完全にする、準備する  
一つに合わせる、繕う

マタイ 21:16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞

いていますか。」イエスは言われた。「聞いています。『幼子たち、乳飲み子たちの口を通して、あなたは誉れを**打ち立てられました**』とあるのを、あなたがたは読んだことがないのですか。」

マルコ 1:19 また少し先に行き、ゼバダイの子ヤコブと、その兄弟ヨハネをご覧になった。彼らは舟の中で網を**繕っていた**。

ルカ 6:40 弟子は師以上の者ではありません。しかし、だれでも**十分に訓練を受ければ**、自分の師のようにはなります。

ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼ**される**はずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれば、どうですか。

Ⅱコリ 13:11 最後に兄弟たち、喜びなさい。**完全になりなさい**。慰めを受けなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

ガラ 6:1 兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を**正して**あげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。

Iテサ 3:10 私たちは、あなたがたの顔を見て、あなたがたの信仰で不足しているものを**補う**ことができるようにと、夜昼、熱心に祈っています。

ヘブル 10:5 ですからキリストは、この世界に来てこう言われました。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、

からだを備えてくださいました。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、その結果、見えるものが、目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

ヘブル 13:21 あらゆる良いものをもって、あなたがたを整え、みこころを行わせてくださいますように。また、御前でみこころにかなうことを、イエス・キリストを通して、私たちのうちに行ってくださいますように。栄光が世々限りなくイエス・キリストにありますように。アーメン。

6:2 互いの重荷を負い合いなさい。そうすれば、キリストの律法を成就することになります。

重荷 = ◀ 922. baros (バラス) 6回 ▶ (N) 重さ 重荷

@負わずに済むものなら取り除きたい重荷や負担

マタ 20:12 『最後に来たこの者たちが働いたのは、一時間だけです。それなのにあなたは、一日の労苦と焼けるような暑さを辛抱した私たちと、同じように扱いました。』

使 15:28 聖霊と私たちは、次の必要なことのほかには、あなたがたに、それ以上のどんな重荷も負わせないことを決めました。

2 コリ 4:17 私たちの一時の軽い苦難は、それとは比べものにならないほど重い永遠の栄光を、私たちにもたらすのです。

I テサ 2:7 キリストの使徒として権威(重さ)を主張することもでき



ましたが、あなたがたの間では幼子になりました。私たちは、自分の子どもたちを養い育てる母親のように、

黙 2:24 しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

対照的に「5413 ファルティアン」は負うべきもの。(一概には言えないが、聖書の訳文からそうとれる)(イエスの荷・マタイ 11:30)(利益となる積み荷・使徒 27:10)

@単に似たような御言葉

@ (ロマ 12:15 喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

@ (1ペテ 4:10) それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

@ (ガラテア 5:13) …、自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。

@ (エペソ 5:21) キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。

6:3 だれかが、何者でもないのに、自分を何者かであるように思うなら、自分自身を欺いているのです。

第1コリント 8:2 自分は何かを知っていると思う人がいたら、その人は、知るべきほどのことをまだ知らないのです。

6:5 人はそれぞれ、自分自身の重荷を負うことになるのです。

重荷=◀ 5413. phortion (ファルティアン) 6回▶(N) 重荷、荷物

ここでいう重荷という単語は2節のものとは別の単語が使われている。

違いは2節の「922. バラス」は負担、でり無いほうが良いものであるが、「5413 ファルティアン」は負うべきもの。(一概には言えないが、聖書の訳文からそうとれる)(イエスの荷・マタイ 11:30) (利益となる積み荷・使徒 27:10)

ファルティア

マタ 11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」

マタ 23:4 また彼らは、重くて負いきれない荷を束ねて人々の肩に載せるが、それを動かすのに自分は指一本貸そうともしません。

負いきれない=◀ 1419. dusbastaktos (デゥスバスタカス) 2回▶(A)

ルカ 11:46 しかし、イエスは言われた。「おまえたちもわざわざだ。律法の専門家たち。人々には負いきれない荷物を負わせるが、自分は、その荷物に指一本触れようとはしない。

@ここでの「荷物」はすべて「5413 ファルティアン」かその動詞形の「5412 ファルティヅ」

使 27:10 「皆さん。私の見るところでは、この航海は積荷や船体だけでなく、私たちのいのちにも危害と大きな損失をもたらすでしょう」と言った。

6:6 みことばを教えてもらう人は、教えてくれる人と、すべての良いものを分かち合いなさい。

6:7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。

種をまく = ◀ 4687. Speiró(スパイロ) 53 回 ▶ 種を蒔く、散らす

コロ 3:25 不正を行う者は、自分が行った不正を報いとして受け取ることになります。不公平な扱いはありません。

@霊的原則は刈り取るときには大きくなっている（ホセア 8:7） 彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。

@物理法則に作用、反作用があるように、

@現在の社会は自然界の法則を研究し、発展してきたが、霊的な法則は無視してきた。時計を落として壊れてしまってもそれはサタンの仕業ではない

@うわさ話は尾にひれがつく」これはその法則の表れ

@刈り取るのだから、自分が必要としているものを植えるべきである

6:8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。

6:9 失望せずに善を行いましょう。あきらめずに続ければ、時が来て刈り取ることになります。

6:10 ですから、私たちは機会があるうちに、すべての人に、特に信仰の家族に善を行いましょう。

6:12 肉において外見を良くしたい者たちが、ただ、キリストの十字架のゆえに自分たちが迫害されないようにと、あなたがたに割礼を強いています。

6:13 割礼を受けている者たちは、自分自身では律法を守っていないのに、あなたがたの肉を誇るために、あなたがたに割礼を受けさせたいのです。

@律法を守っていません= (マタイ 22:39) マタ 22:39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

6:14 しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが、決してあってはなりません。この十字架につけられて、世は私に対して死に、私も世に対して死にました。

6:14 しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。

@ (エレミヤ 9:24) 9:24 誇る者は、ただ、これを誇れ。悟りを得て、わたしを知っていることを。わたしは【主】であり、地に恵みと公正と正義を行う者であるからだ。まことに、わたしはこれらのことを喜ぶ。——【主】のことば。』

@ (詩篇 20:7) ある者は戦車がある者は馬を求める。しかし私たちは私たちの神【主】の御名を呼び求める。

@ (1 コリ 1:31) 「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりにするためです。

@

@ (2 コリ 10:17) 「誇る者は主を誇れ。」 @

6:16 この基準にしたがって進む人々の上に、そして神のイスラエルの上に、平安とあわれみがありますように。

そして= ◀ 2532. kai (カイ) 9079 回 ▶そして、～もまた

(改2)のすなわち神のイスラエルは誤訳。

この翻訳だと置換神学に陥る危険がある。